

議事録

会議名：第39回中四国学生剣道連盟理事会

- 日時：2011年12月10日PM1時30分より
- 場所：広島県立総合体育館・中会議室
- 構成員：36名
- 参加者：湯村正仁、渡邊道德、小倉 肇、木原資裕、榊 康守、草間益良夫、村井慎治、山神真一、石井博貞、境 英俊、竹内善一、廣畑栄三、宮本理幸、矢野宏光、太田浩貴、菱川創太、上田祥平、山村 彩、香川修慶、戸上皓一朗、大野泰史、坂口堅太、式地淳史、瓜生朋実、小阪将大、木村優介、横澤 湧、筒井智輝、溝口雄一、（以下委任状により出席と見做す）藤原崇郎、大城戸 功、河内 泉、福井悦郎、香川直己、田久保竜馬、越智拓也、中野沙耶
以上36名、欠席者：0名

オブザーバーとして、近藤裕樹、月本翔太

上記の通り、全体の3分の2以上の出席があった為、本会議は適法に成立した。
慣例に倣い会長の湯村正仁を議長として議事が進められた。

●記録

氏名：太田浩貴

E-mail：info@chushi.xsrv.jp（不明点はこちらへ）

Summary：

- 議題1：第38回理事会議事録確認
- 議題2：幹事会報告（先輩役員承認・学生役員改選・規約改正案の報告）
- 議題3：全日理事会・常任理事会報告（剣道有功賞、海外派遣等の報告）
- 議題4：全日本オープン大会（主管：中四学連）について
- 議題5：平成24年度大会について（日程及び審判長）
- 議題6：各大会における審判員の各県割り当て人数について
- 議題7：リーゼミについて
- 議題8：平成24年度予算案
- 議題9：剣友会（中四学連・剣友剣道大会）について
- 議題10：その他

議事

1. 第38回理事会議事録確認

第38回理事会議事録を一部（誤字）変更して異議なく承認した。

- 1) 選手権の日程 5月10日から5月20日に訂正。（愛媛県武道館）
- 2) 講習会日程 全日本審判講習会に平成25年度を入れて訂正。

2. 中四幹事会報告

報告者：太田浩貴

- (1) 先輩役員改選について
 - ・11月3日に行われた幹事会において、幹事長に太田浩貴（広島大学）、その他別紙名簿の通り、新学生役員が選出された。
- (2) 全日本学生について
 - ・当連盟からの代表として、常任理事に菱川創太（岡山大学）、理事に山村 彩（広島大学）が決定した。
 - ・幹事長と全日本常任理事が今回異なっている件について、一部異論が出たが、規約上は問題ないと考えられる。今までは幹事長が全日本学生常任理事を兼務していたが今回役割分担という形で分けた。
- (3) 連盟脱退について
 - ・岡山県立大学、四国学院大学から脱退届けが提出され、承認された。
- (4) 規約改正案について
 - ・細則第1条「…前略…加盟できる団体は1大学1団体とする。」を「…前略…加盟できる団体とは、各大学の学友会・体育会等の承認を得たものとする。但し、前述の承認を得ていない団体は、幹事会及び理事会内に設置する特別委員会の議を経て、幹事会の議決により、加盟を認めることができる。」この案については問題点もあり、再考することとなる。但し、来年4月からの愛媛女子短期大学の名称変更に関して、環太平洋大学短期大学部と環太平洋大学は両方とも加盟の継続を確認した。

3. 全日理事会・常任理事会報告

報告者：月本翔太

報告者：草間益良夫、木原資裕

全日理事会・常任理事会議（平成23年10月22日）

- (1) 全日本学生剣道連盟から全剣連有功賞推薦候補者について
 - ・中四国より渡邊道德先輩が推薦された。学連からは関東の清水先輩が選ばれた。
- (2) 事業委員会について
 - ・六十周年記念誌およびオブザーバーの件
六十周年記念誌を完成させるまでの間、オブザーバーとして北信越の小林先輩が立候補。また、中四の木原先輩から五十周年記念誌作成の際に世界学生大会の記録も記載したため今年に開催される海外派遣事業について記載すべきではないかという提案があった。そのため、予算の範囲内で検討すると回答があった。
 - ・45人から36人に縮小。中四国学生剣道連盟より男子2名、女子1名を派遣することに決定。
 - ・60周年に関する諸事業について
財務委員会より1000万円を限度とするとの報告。また来年の全日本学生選手権の際に開催される記念祝賀会に中四国の先輩より9名の参加を依頼したい。その際、審判の先輩方も含めて監督の先輩方にもお願いしたい。
- (3) その他について
 - ・全日本オープン大会に参加される交通費、宿泊費等について常任理事、幹事の先輩のみ全日本学生剣道連盟の一般会計より払われ、理事および副会長の費用は各地域連盟が負担し、その他は自己負担とする。
 - ・次回の大会に向けて、各地域連盟に審判員の分担が増えるように調整する必要性あり。
 - ・審判委員会からの確認事項について
つばぜり合いの解消について、今の学生は高体連の申し合わせにより昔に比べるとつばぜり合いの問題は減少してきたが、まだ完全に解消されたとはいえない。ただ、全剣連ルールではつばぜり合いで五分の体勢のまま静止できていれば、かまわないという解釈もある。

全日常任理事会議（平成23年11月5日）

- (1) 各地域連盟の英名について
 - ・フランスの派遣事業において各地域連盟の名前を記載すべきであるかどうか再検討事案となっている。
- (2) 60周年記念事業について
 - ・羽田空港までの往復交通費用は総額を派遣団員の人数で割り、各地域連盟でその人数分を負担するという提案がなされた。一人あたり25,000円を負担する予定となっている。全日本学生剣道連盟から全員分の実費を各人に返す方法をとるが、原資が必要なため一人あたり25,000円を徴収する（遠い地域

の人と関東の人との費用格差をなくすため)。

- ・中四国学生剣道連盟より男子3名(月本、田久保、佐藤)、女子1名(中武)が参加する。
(選考経緯) 選考委員である木原先輩、矢野先輩、草間先輩、月本幹事長、明石女子部長の5名が各男女4名ずつを推薦し、優先順位をつけ、一位に4点、二位に3点、三位に2点、四位に4点を振り分けた。その結果、男子は佐藤(松山大学)、女子は中武(広島大学)が一位となり、代表に決まった。その他、中四学連から月本幹事長、全日学連財務から田久保が行くことに決定した。
 - ・全日本女子学生剣道優勝大会30回記念誌について
渡邊副事業委員長から、記念誌『本大会の30年の歩み』が製作されたことが報告された。
 - ・監督会議について
「学生剣道改善答申書」に基づいて組織された「規律委員会」が平成17年2月5日付けで作成した資料<守ろう；行儀・作法と礼節>を監督会議で監督に指導をお願いする資料として提示願いたいとの提案があった。この内容を今大会ならびに来年度の全日本大会で徹底していくこととし、各地域連盟でも各大会でこの指導内容を徹底していくこととした。
- (3) 財務委員会
- ・23年度の最終登録部員は11,274名となり、22年度11,416名よりも142名減少したとの報告があった。中四は896名(対前年より37名の減少)。
 - ・当連盟主催の大会に関する交通費が場所により大きく変わってきているため、来年度から主に北海道、中四国、および九州連盟からの交通費を見直すことが提案された。
- (4) 平成24年度当連盟主催大会の審判長について
- ・平成24年度当連盟主催大会の審判長については、審議の後、藤原崇郎先輩(國士舘大学S44卒)をお願いするとの報告があり、承認された。

4. 全日本オープン大会(主管:中四学連)について

報告者:近藤裕樹、村井慎治

- ・競技会場の広島県立総合体育館グリーンアリーナを確保するべく、広島県剣道連盟を通じて、早期内定を得るべく、鋭意努力中である。
- ・広島学連剣友会OB会において、11月9日にオープン大会についての話し合いを行った。広島県学生剣道連盟から、広島大学2回生谷口君、広島修道大学2回生新田君、福山大学2回生難波孝至君の学生3名に北海道視察に行っていただくことになった。飛行機代を含む3泊4日分の費用156,900円は大森杯の基金から援助することが報告された。

5. 平成24年度大会について(日程及び審判長)

報告者:石井博貞、矢野宏光

(1) 24年度事業計画

- | | | | |
|---------------|---------|----|------------|
| ・リーダーズセミナー | 3/10~12 | 決定 | 江田島 |
| ・中四国学生剣道選手権大会 | 5/20 | 希望 | 愛媛県武道館 |
| ・西日本大会 | 5/26~27 | 予定 | 福岡市民体育館 |
| ・全日本学生剣道選手権大会 | 7/7~8 | 決定 | 日本武道館 |
| ・中四国学生剣道優勝大会 | 8/26 | 決定 | 岡山市総合文化体育館 |
| ・中四国学生剣道新人戦大会 | 12/9 | 希望 | 広島県立総合体育館 |

(2) 平成24年度審判長について

- ・福井悦郎先輩をお願いすることが提案され、了承された。

6. 各大会における審判員の各県割り当て人数について

報告者:廣畑栄三、矢野宏光

(1) 平成24年度優勝大会

- ・前日及び当日に全剣連による六段・七段の昇段審査が桃太郎アリーナで予定されている。よって、岡山県連に所属する教員等がかり出されることが予想され、岡山県の審判員割り当てを考慮して頂きたい旨要請があった。

(2) 平成24年度以降の選手権大会について

- ・選手権大会について別紙の通り、各県の割り当て人数案が提案され、了承された。

7. リーゼミについて

報告者：香川修慶

- ・平成24年3月10日～12日、広島県の江田島で開催される予定であることが報告された。
- ・講師は、藤原崇郎先輩で行われる。
- ・昨年度、各大学の主将、副主将、主務以外の参加が多く見られたため、今年度は主将、副主将、主務の参加を呼びかけている。

8. 平成24年度予算案

報告者：石井博貞

- ・平成23年度、登録人数の減少が続いており、特に1回生の数が減っていて、来年以降の新人戦開催を危惧している。
- ・別紙の通り、平成24年度の予算案が承認された。

9. 中四学連剣友剣道大会について

報告者：小倉 肇、境 英俊

- ・来週土曜日に岡山武道館において稽古会ならびに懇親会、日曜日に中四学連剣道大会が開催されることが報告された。今大会は、昨年度に比べて参加が21チーム増加し、人数が100名となった。しかし、昨年の6会場から4会場に減らしたことで、スムーズな大会運営への協力要請がされた。
- ・22年度の全国大会について、23年3月名古屋で行う予定であったが、震災で中止になり、次回、25年3月関東、27年3月中四での開催が決定した。
- ・大会要項について、毎回変更されていることが問題となっている。中四で行う時は、変更する場合、早めに検討するよう会長より指示があった。

10. その他

- ・全日本学生剣道大会の報告について、垂れ型重視について意見があった。審判委員会において、垂れ型と背中併用型がよいという方が75%、従来の背中のみでよいという方が24%であった。しかし、三宅委員長が従来型に賛成しており、現在は従来型に戻す確率が高いとされる。これについて、2月の審判委員会で話し合いが行われる予定であり、正式決定されることが報告された。

以上の議事を終え、本会は午後14時55分、議長が閉会を宣言して散会した。

上記決議を明確にするため議事録をここに記す。署名人はこの議事録が正しいことを以てここに記名及び押印する。

平成 23 年 12 月 10 日

中四国学生剣道連盟 第39回理事会

署 名 人 廣 畑 栄 三

署 名 人 上 田 祥 平



次回 MTG

日 時：2012年5月19日

場 所：愛媛県武道館